

平成 19 年 5 月 17 日
会社名 株式会社ディーアンドエムホールディングス
代表者名 代表執行役共同 CEO 株本辰夫
(コード番号:6735 東証 1 部)
(問い合わせ先) 執行役 CFO 石橋善一郎
(TEL:044-670-1111)

株式会社ディーアンドエムホールディングス
平成 19 年 3 月期 決算予想を発表
～ 第 4 四半期の好業績と買収効果などにより業績予想を引き上げ

株式会社ディーアンドエムホールディングス(東証1部:6735、本社:神奈川県川崎市、代表執行役共同CEO:株本 辰夫、以下D&M)は本日、平成19年3月期通期業績予想を発表いたしました。

最近の業績の動向を踏まえ、平成19年2月22日に公表した平成19年3月期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)における業績予想を修正し、連結売上高1000億円、営業利益57億50百万円、経常利益56億円、純利益29億円としました。

(金額の単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	純利益
前回発表予想 (A)	93,000	5,000	4,500	2,500
今回予想 (B)	100,000	5,750	5,600	2,900
増減額 (B - A)	7,000	750	1,100	400
増減率	7.5%	15.0%	24.4%	16.0%
前期実績(平成18年3月期)	89,312	3,606	3,106	2,397
増減率	12.0%	59.5%	80.3%	21.0%

- ◆ 前回から予想を上方修正した要因としては、第4四半期の業績が米州および欧州市場での販売好調により従来予想を上回ったこと、2007年1月初めにフィリップス社から買収したスピーカー事業の業績が寄与したことがあげられます。
- ◆ 連結売上高は対前年同期比で12.0%増を見込んでおります。プレミアムAV事業が引き続き伸張していることに加え、2005年8月に買収したボストン・アコースティックスの売上が今年は通期で貢献していること、フィリップス社から買収したスピーカー事業が第4四半期の売上に貢献したこと、などが寄与する見込みです。
- ◆ 営業利益に関しても対前年同期比で59.5%増を見込んでおります。上記2つの買収効果に加えて、オペレーション改善などによる既存のプレミアムAV事業における営業利益の向上、ユーロ高による利益の押し上げ効果などが貢献する見込みです。

最終的な平成19年3月期通期決算および平成20年3月期業績予想の発表は、5月23日に行う予定です。

ディーアンドエムホールディングスについて

株式会社ディーアンドエムホールディングス(東証1部:6735)は、神奈川県川崎市に本社があり、傘下のブランドとしてデノン、マランツ、マッキントッシュ、ポストン・アコースティックス、スネル、D&Mプロフェッショナル、D&Mプレミアム・サウンド・ソリューションズ、リプレイTV、エシエントを擁します。デノン、マランツ、マッキントッシュ、D&Mプロフェッショナルは、ホームシアター、家庭用あるいは業務用の高級オーディオ/ビジュアル製品の製造と販売で長年に渡る経験を持ち、世界の業界をリードしています。詳細については <http://www.dm-holdings.com> をご覧下さい。

(注)上記の業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

###

各位

会社名 株式会社ディーアンドエムホールディングス
 代表者名 代表執行役 CEO 株本 辰夫
 (コード番号 6735 東証第1部)
 問い合わせ先 執行役 CFO 石橋 善一郎
 T E L 044 - 670 - 1111

連結及び個別業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 2 月 22 日に公表した平成 19 年 3 月期(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)の連結通期業績予想及び平成 18 年 5 月 17 日に公表した個別通期業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期(連結)業績予想数値の修正(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	93,000	5,000	4,500	2,500
今回修正予想 (B)	100,000	5,750	5,600	2,900
増減額 (B - A)	7,000	750	1,100	400
増減率	7.5%	15.0%	24.4%	16.0%
前期実績(平成 18 年 3 月期)	89,312	3,606	3,106	2,397

(通期業績予想修正の理由)

平成 19 年 3 月期は、売上高 1,000 億円、営業利益 57 億 50 百万円、経常利益 56 億円、当期純利益 29 億円に修正いたします。前回予想では売上高 930 億円、営業利益 50 億円、経常利益 45 億円、当期純利益 25 億円を見込んでおりました。第 4 四半期の業績が米州及び欧州市場での販売好調で従来予想を上回ったこと、及び平成 19 年 1 月にフィリップス社(コーニンクレッカ フィリップス エヌブイ NYSE:PHG AEX:PHI)から買収した、ディーアンドエム・プレミアム・サウンド・ソリューション事業の業績が寄与したことによります。

2. 平成 19 年 3 月期(個別)業績予想数値の修正(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	52,000	450	270
今回修正予想 (B)	57,710	2,602	1,736
増減額 (B - A)	5,710	2,152	1,466
増減率	10.9%	478.2%	543.0%
前期実績(平成 18 年 3 月期)	56,071	46	4,248

(通期業績予想修正の理由)

平成 19 年 3 月期は、売上高 577 億 10 百万円、経常利益 26 億 2 百万円、当期純利益 17 億 36 百万円に修正いたします。前回予想では売上高 520 億円、経常利益 4 億 50 百万円、当期純利益 2 億 70 百万円を見込んでおりました。売上高の増加は主に米州・欧州市場での販売が好調による日本からの輸出の増加によるものであります。経常利益、当期純利益の増加は、リージョン制の導入等の新組織体制の運用安定化に伴う経費削減効果及びマネジメントサービスフィーの計上によるものであります。

以上